

学生の『論語』理解について

国語教育専修・太田亨

1、授業の概観

本授業の目的は、中国文学がいかに日本に影響を及ぼしたか、またわれわれの身近にどれほど漢文は浸透しているかを理解することである。そのため中国の文学作品を、日中の注釈書を参照し、さらに日中の工具書を使用して読解し、作者の真意を理解するようにした。これは国語における漢文教材を研究することに直結している。国語における漢文は、日本人が中国の古典がいかに接してきたかを理解し、日本の古典であることを認識する必要があるからである。

上記の目的を達するために、学生には次に挙げる四つの到達目標を課した。

- ①注釈書の注解を正確に理解する。
- ②状況に応じて日中の工具書を使いこなせるようになる。
- ③一語、一句、一聯を丁寧に読み解き、作者の真意を表現できるようになる。
- ④中国文学に対する興味を深める。

目的及び到達目標を実現させるために、授業では教材として『論語』を扱った。『論語』は、日本において古くから親しまれた教養書である。孔子によって著された『論語』は、人間の道徳から政治に至るまで、あるべき規範が説かれている。テキストには日本中世に作られた注釈書『論語抄』を用いた。

作業は、各学生に孔子の言葉とその注解を割り振る。割り振られた学生は、辞書を利用して丹念に読解し、最後に日本語訳し、さらに行った作業をもとに資料を作成し、全員に配付して発表する。その後、グループ毎に資料と発表について討論し、疑問点や意見を言い、よりよい解釈を導き出していくようにした。一人が孔子の言葉を一つから二つ担当し、結局54の言葉を扱った。

2、学生アンケート及び結果

授業後、アンケートを行った。これから、アンケートの質問事項とその結果を示す。

まずは授業の概要について、10項目のアンケートを行った。以下、その項目と結果である。回答者は16名である。②～⑦について、アンケート用紙には、マイナス要素を含む選択肢も当然あるが、0名の場合は省略した。

①、シラバスの説明（授業の概要）はありました

か。（あった：16名 なかった：0名）

②、授業における教員の態度（熱意や言動や学生に対する対応等）は適切でしたか。（大変適切だった：12名 まあまあ適切だった：3名 ふつう：1名）

③、授業には興味を持って臨むことができましたか。（臨むことができた：5名 まあまあできた：7名 ふつう：4名）

④、発表資料の作成・課題作成を含めて、授業外の学習をどれほどしましたか。（かなりした：6名 まあまあした：8名 ふつう：1名 あまりしなかった：1名）

⑤グループ毎の討論にどのように参加しましたか。（積極的に参加した：5名 まあまあ参加した：8名 ふつう：2名 あまり参加しなかった：1名）

⑥、授業を通して、『論語』に対する理解は深まりましたか。（かなり理解できた：3名 まあまあ理解できた：12名 ふつう：1名）

⑦、漢文に対する興味は深まりましたか。（深まった：7名 少し深まった：9名）

⑧、『論語』について、あなたが考えたこと・思ったことを自由に書いてください。

・『論語』は人間味あふれる孔子が人生の先輩として様々なことを私たちにアドバイスしてくれている書物ではないかと思いました。また、人間としてどのように行動すればよいのかという指針を示してくれるものであると感じました。（孔子の言葉が現代にも通じると答えた学生は他に7名）

・孔子の考えが好きになりました。（他2名）
・今までに聞いたことがある言葉がいくつかあり、どうやってその言葉が生まれたのかが分かり面白かった。

・先日本屋へ行った際に『親子で読む論語』という本があった。論語というのは子どもからお年寄りまで幅広い世代の人が読める本なのだなどと改めて感じた。（同意見他1名）

・前後の文や問いはリンクしていて、つながりがあった。分からない場合は前後の文を見ると分かりやすかったり理解できた。

・多くの人が感想に現代の政治とからめて書いていたので、今の政治に求められることが『論語』に多く書かれているのではないかと思った。

・孔子は人間の普遍的な考えを理解していたんだ

など感心した。

・興味深いエピソードにいくつか出会えました。将来、教員になった時、ちょっとした時に論語の話ができるの良いなと思いました。

・良い文章は万年受け継がれていくのだろう。

⑨、日本人と漢文について、あなたの思うこと（考えたこと）を教えてください。

・日本人は漢文を学ぶことで日本人とは何かという、いわば日本人の本質に迫ることができるものではないかと考えています。（同意見他1名）

・一見関係がなさそうだけど、今を生きる私たちですら、多少なりとも漢文の影響を受けているのかなと思いました。

・漢文は日本人にとって教養でよく勉強し、注釈書を作ったのではないかと思います。しかし、今回訳した『論語』では日本人が書いた日本語（片仮名と漢字）よりも漢文の方が読みやすかったので、漢字の方が身近な存在だと思いました。

・古文と同じような感じで、昔の人の考えを知ったり、歴史などを知ることができたりするので勉強になると思う。

・漢文の面白いところは少ない文字の中にとっても深い意味の内容が表されているところです。

・論語にせよ、他の漢文の文章にせよ、納得させられることがたくさん書いてあるので、学校現場では頑張って教えたいと思った。

・書いた方と読む方では解釈にずいぶん違いがあると感じた。

・日本人も漢字の意味を大切に使う民族だと思うので、興味を持って取り組みやすい。

・意識の底にあるものだと思う。小さい頃から培われてきた道徳観にあると思います。

・日本人にとって漢文は面白い。

・なかなか漢文を読む機会がないなと感じた。

⑩、授業に対するあなたの意見・感想を自由に書いてください。

・皆の解釈を聞いていると、よく考えているなあ、よく読み込んでいるなあと思った。現代につなげた話も納得させられるものばかりで勉強になった。（同意見他1名）

・原文の解釈についてみんなと議論する時間があればもっと良いなと思った。

・授業で扱っていない論語を読みたい。（同意見他4名）

・今回の授業を受けて昔の人が書いた崩し文字を読む作業がとても大変でした。しかし、だんだん分かってきた時や、分からなかった文字が分かった時、とてもスッキリしました。（同意見他4名）

・グループで話し合いができたので議論しやすかった。少し内容が難しかったが楽しかった。（同

意見他5名）

・昔の人が書いた資料を現代の私たちが読み取って内容を吟味することは貴重な経験だなと感じた。この授業を取っていないければ『論語』に触れる機会もなかっただろうし、とても勉強になった。孔子の考えを今後の生活にいかしていきたい。

・多くの論語が読むことができ自信がついた。

・漢文面白いって思うようになりました。まだまだ漢文やりたいです。

3 アンケート結果について

①～⑦の結果より、教員の対応や授業の進行については、あまり不満は見られなかったと言える。また『論語』に好感を抱いているようである。

⑧の結果より、学生は日本において『論語』が深く浸透し、我々の身近な存在であることを理解したことが分かった。この授業の目標と到達目標の④がある程度達せられたと言える。

⑨の結果より、漢文の必要性を認めながらも、なかなか触れる機会がない上、そうはたやすく読解することが難しいことを感じている。当然の感想とも言えるが、実際に教える立場になった時に現代語訳がいかにか大変なことであるか認識しておくのによい経験になったと思う。

⑩の結果より、授業に対しては、みな注釈書を日中の工具書を用いて解釈し、それらを踏まえた上で論語本文を現代語訳することが大変だったと感想を述べている。ただし、そのことを拒否しているのではなく、逆にやりがいを感じ、もっと同じような作業をしたいと述べている。私の観点から見れば、到達目標①～③をクリアしたものと思っている。

まとめ

今年になって始めて教材に論語を用いた。論語は中学校・高等学校の教科書に必ず採用されているものであり、学生にとっては馴染みは深い。しかし、教科書に採用されている以外の本文は難解なものが多く、なかなか授業では扱うことができないかと思っていた。本授業においては、日本人の注釈書を用いることで、その点をクリアすることができ、日本人がどれほど論語を受容していたか感じさせることができた。ひとまず、目的及び到達目標は何とか達成できたものと考えている。ただし、今後はこうした教材研究を行った後、実際に授業で扱う場合を想定し、どのように授業案を組み立てていくかを考えさせる必要がある。

